

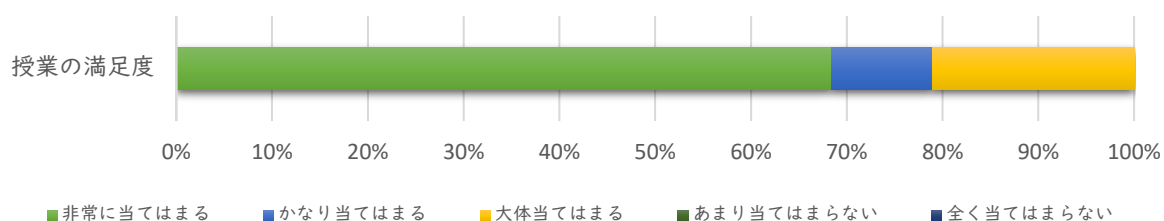
61期生 授業評価 (集計期間:令和5年5月～令和6年12月迄)

1. 1年次の授業科目と授業評価項目

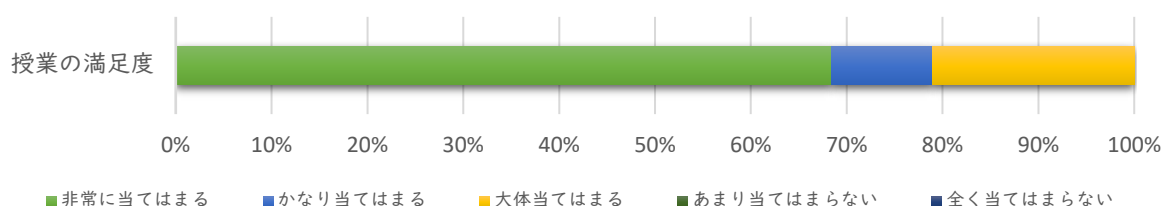
授業実施科目		授業評価項目	
基礎	人間と生活・社会	1	講義の要点がわかりやすい展開であった
	論理的思考の基盤	2	事例や経験談は、多すぎることも少なすぎることもなかった
専門基礎分野	人体の仕組みと働き	3	学生の反応を捉えて授業していた
	栄養	4	学習内容の難易度は丁度良かった
	薬理	5	専門用語やなじみのない用語に対し、わかりやすい説明があった
	疾病の成り立ち	6	講義の進み方は速すぎることも遅すぎることもなかった
	保険医療福祉のしくみ 看護と法律	7	資料やパワーポイントなどの教材の量は適切であった
専門分野	看護概論	8	教員の声は明瞭で聞き取りやすかった
	基礎看護技術	9	授業に参加できた
	臨床看護概論	10	この科目は学習する必要性が理解でき、今後更に学習しようと思えた
	成人看護		
	老年看護		
	母子看護		
	精神看護		

2. 各科目の授業評価 集計結果

論理的思考の基盤	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	3	5	10	1	0

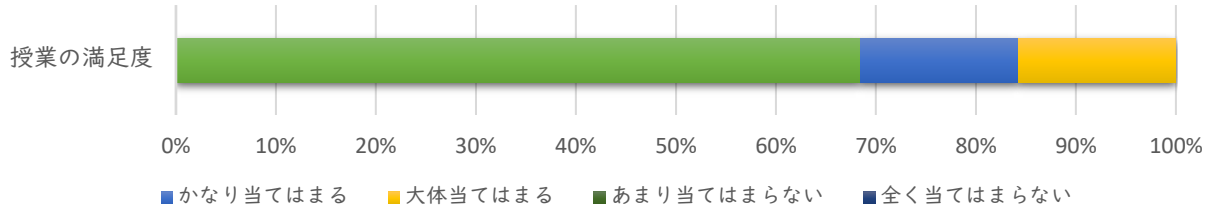


人間と生活・社会	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	13	2	4	0	0

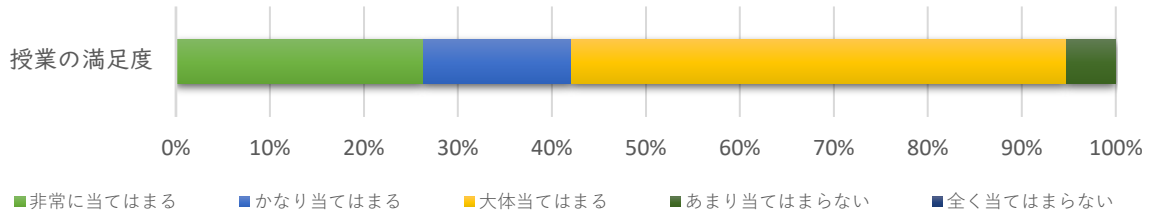


基礎分野

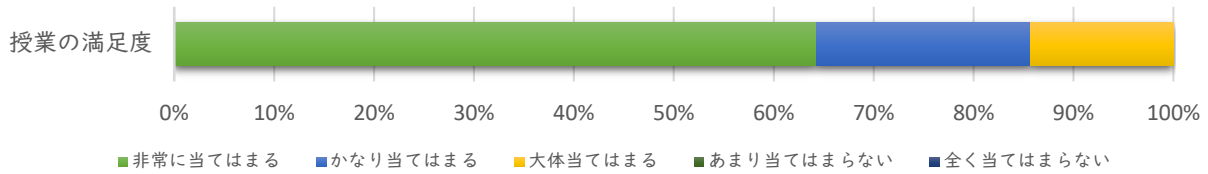
人体のしくみと働き	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	13	3	3	0	0



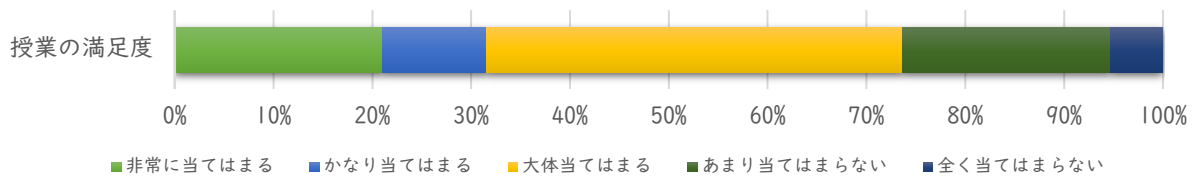
栄養	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	5	3	10	1	0



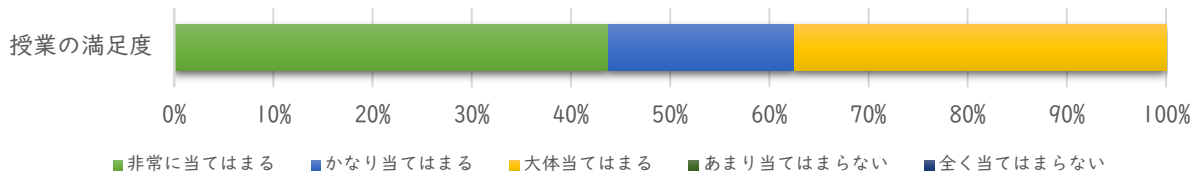
薬理	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	9	3	2	0	0



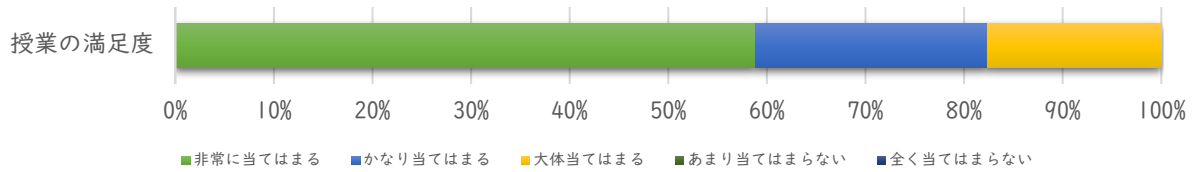
疾病の成り立ち	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	4	2	8	4	1



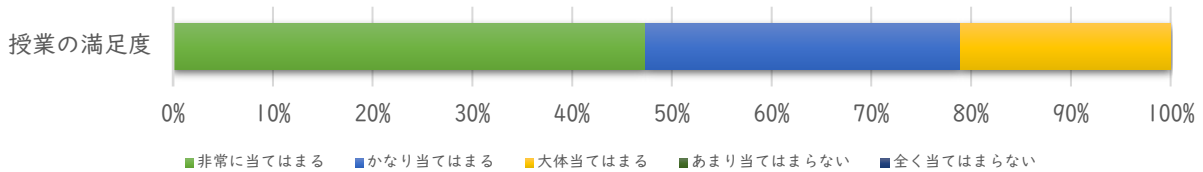
保健医療・法律	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	7	3	6	0	0



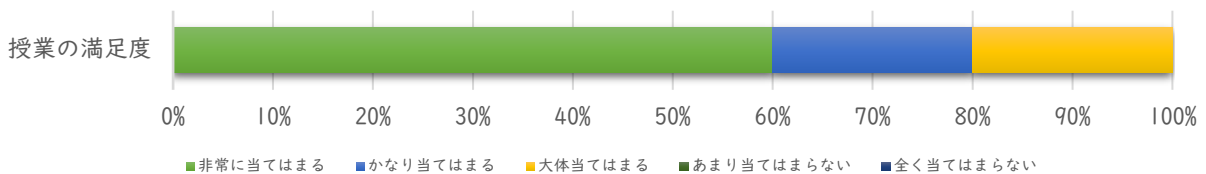
基礎看護技術	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	10	4	3	0	0



看護概論	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	9	6	4	0	0

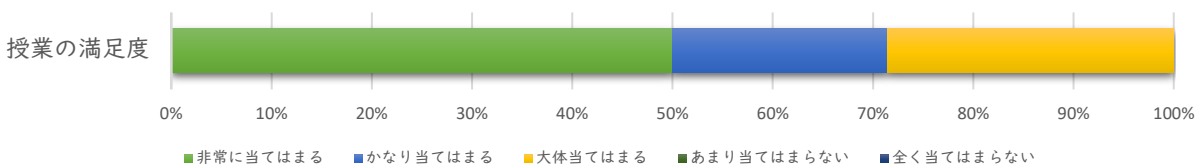


臨床看護概論	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	9	3	3	0	0

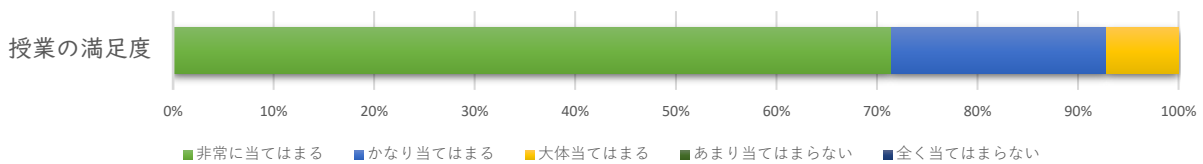


専門分野

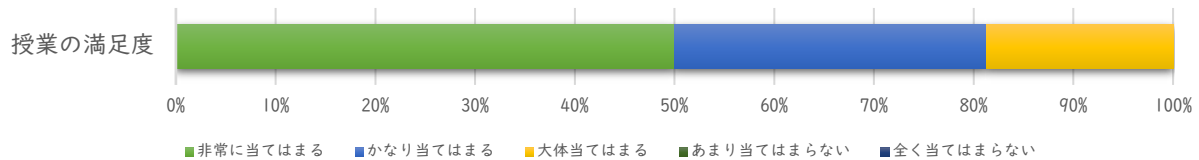
成人看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	7	3	4	0	0



老年看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	10	3	1	0	0



母子看護	非常に当てはまる	かなり当てはまる	大体当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
授業の満足度	8	5	3	0	0



授業の評価項目は1～10までであるが、10の項目の平均を「授業満足度」として評価を行った。科目による差はあるが「非常に当てはまる」から「大体当てはまる」の好意的評価が80～100%であった。それに対して「当てはまらない」などの評価が30%ほどある科目も見られた。学生にとって満足度の低い科目は専門基礎分野(栄養、疾病の成り立ちなど)である。専門基礎分野は入学後すぐに開講するものがほとんどで、看護の初学者にとって難しいと感じるものが多かったのではないかと考える。昨年度も同様の結果となっているが、カリキュラムの順序性からも開講時期の変更などは難しい。そこで「疾病の成り立ち」については、動画など学習教材の配信や、病理学の名誉教授にオンラインでの特別講義をお願いし、学生が楽しく学べるよう教育DXも進めている。専門分野ではすべての科目が「非常に当てはまる～大体当てはまる」と好意的評価であり、専門基礎分野を土台にして、理解が深まったのではないかと考える。開講時期による満足度の差については、今後初学者でも理解しやすい教材や学習方法の工夫など行って行きたい。そして「疾病の成り立ち」については、次年度入学生(62期生)から講師変更となっているため、また改めて来年度評価していきたい。